

2021年3月期 (第19期) 決算説明会

2021年5月18日

株式会社ジーダット



1. 2021年3月期 決算概要

2. 2022年3月期 計画・業績予想

2021年3月期のポイント

売上高：18.1億円（対前年比4.1%減）

営業利益：1.3億円（同3.2%増）、経常利益：1.5億円（11.2%増）

製品売上が伸長

米中貿易摩擦+コロナ禍でソリューション売上が大幅減

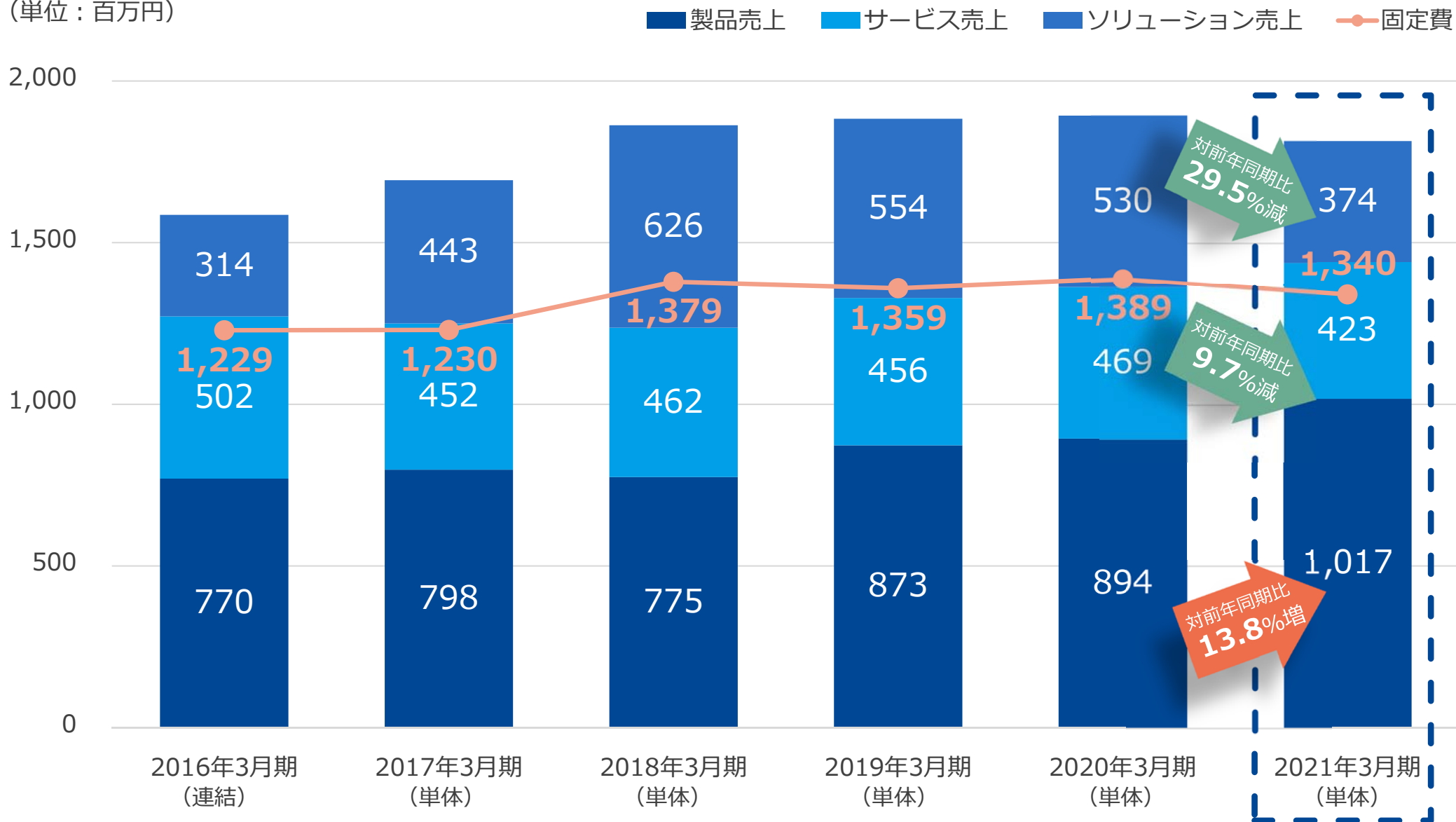
固定費減少+利益率向上の効果により増益

2021年3月期業績概要

(単位：百万円)	2020年3月期		2021年3月期		
	実績	売上高比	実績	売上高比	対前期比
売上高	1,893	100.0%	1,815	100.0%	△4.1%
売上総利益	1,097	57.9%	1,136	62.6%	+3.6%
販売費及び 一般管理費	966	51.1%	1,002	55.2%	+3.7%
営業利益	130	6.9%	134	7.4%	+3.2%
経常利益	135	7.2%	150	8.3%	+11.2%
当期純利益	93	4.9%	101	5.6%	+9.0%

売上高・固定費の推移

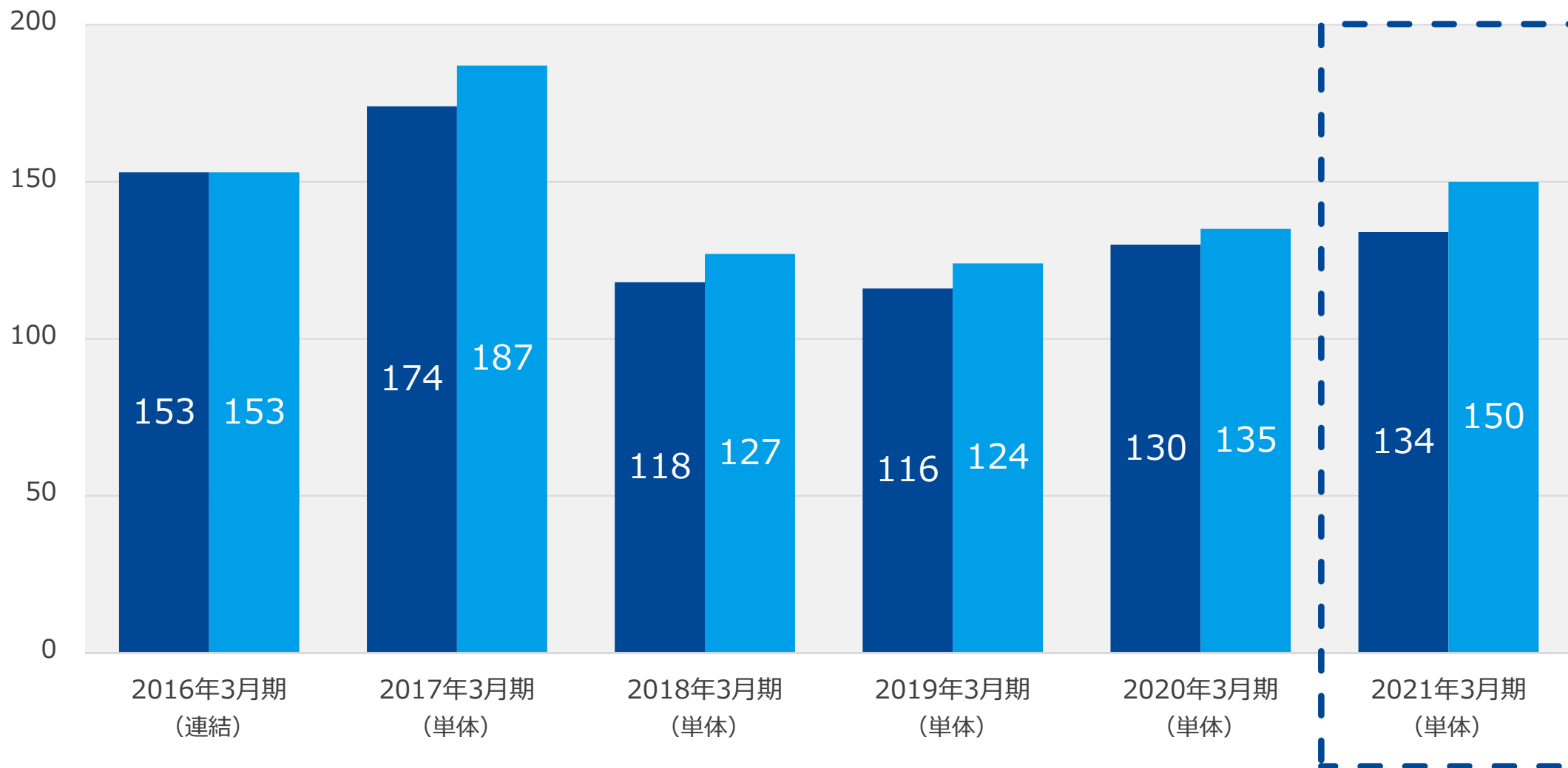
(単位：百万円)



利益の推移

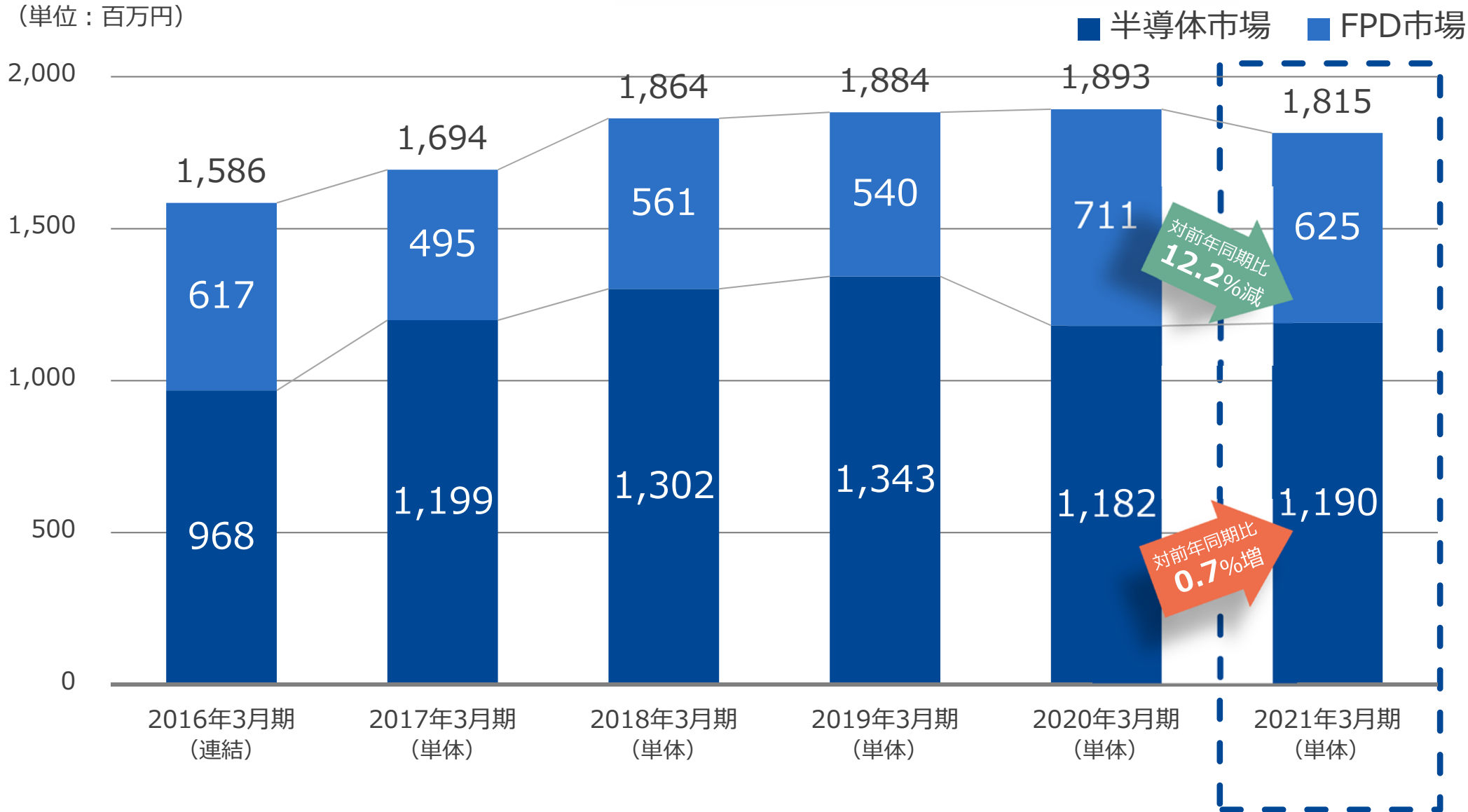
(単位：百万円)

■ 営業利益 ■ 経常利益



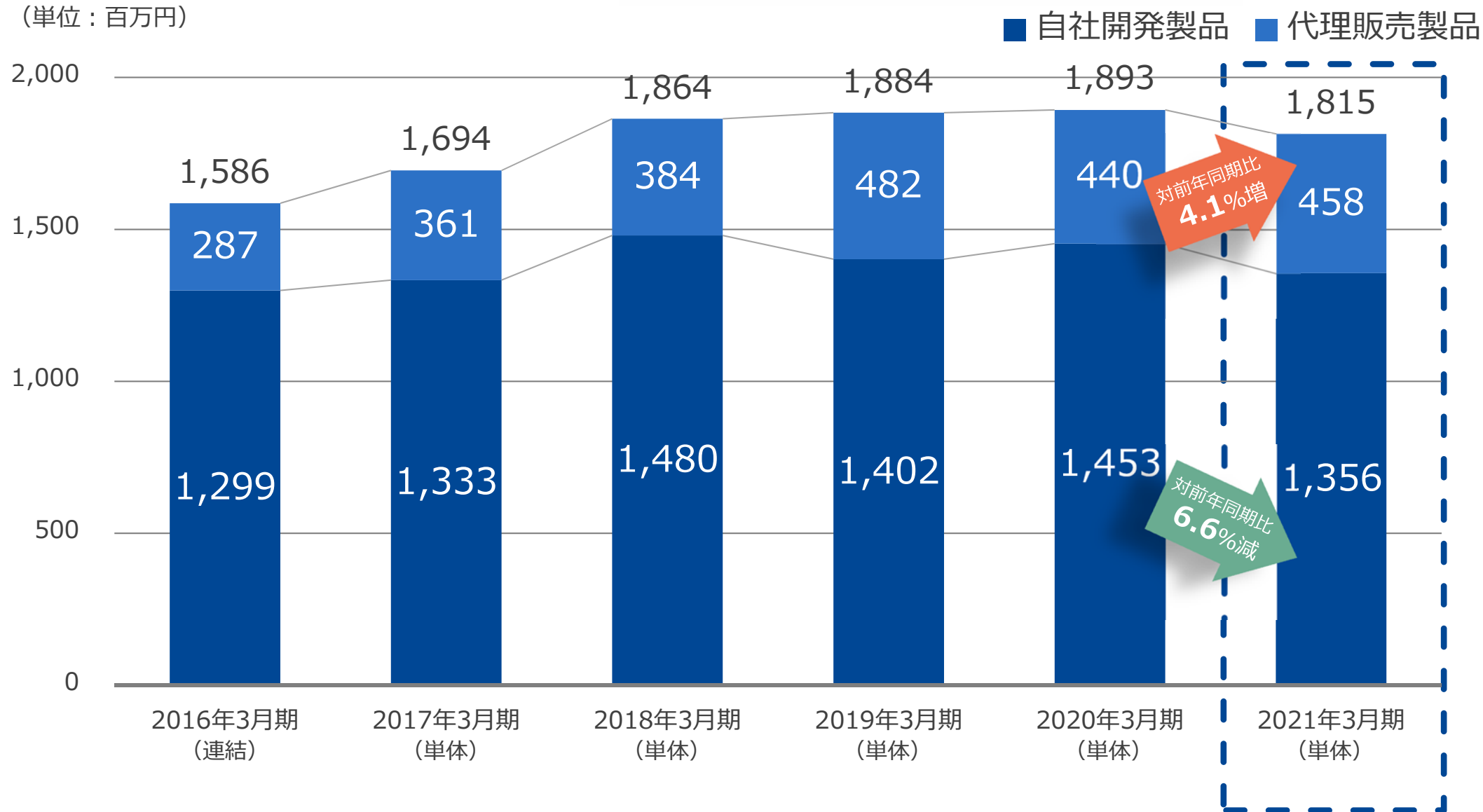
市場別売上高（半導体/FPD）

(単位：百万円)



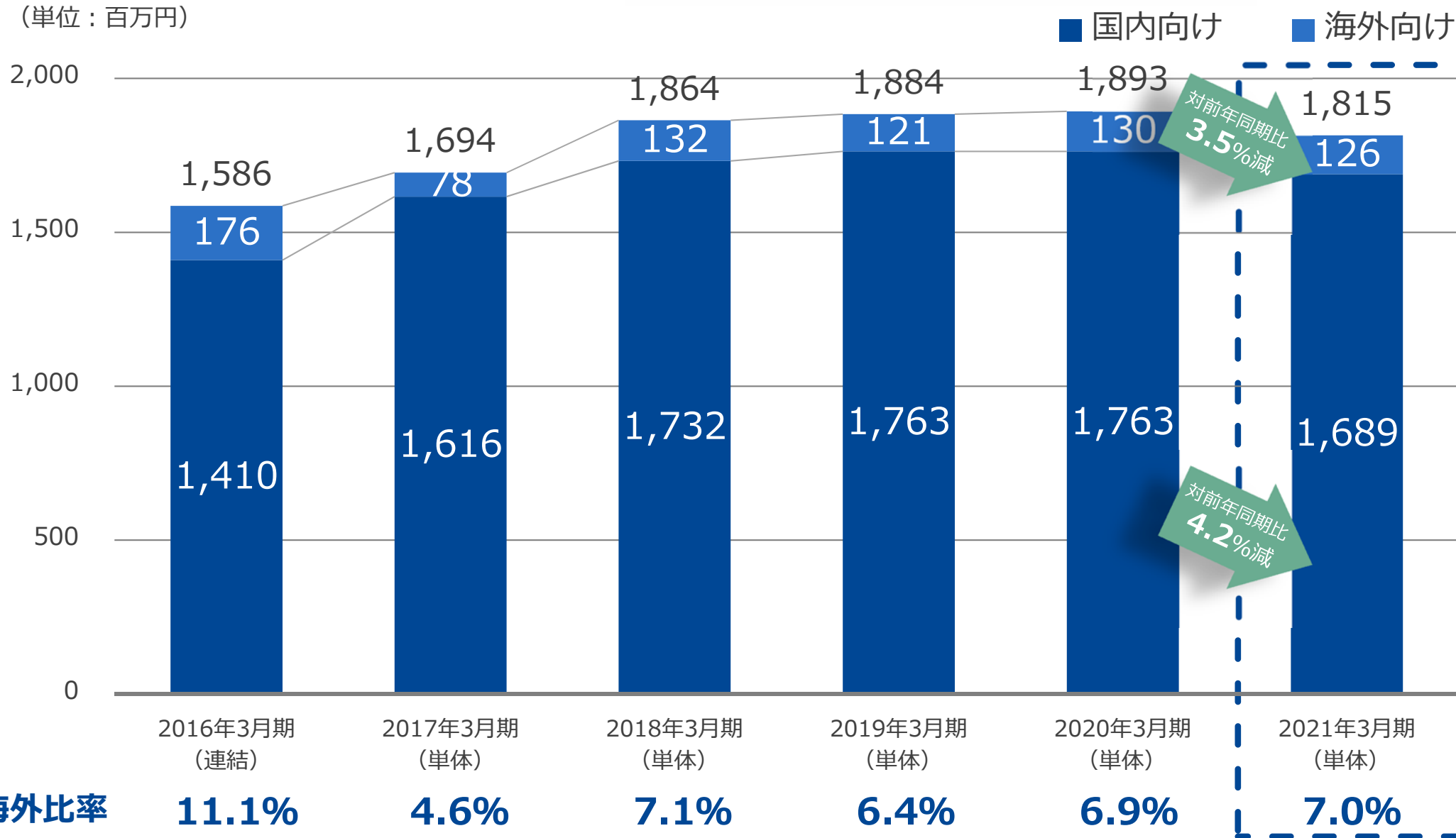
製品区分別売上高（自社開発/代理販売）

（単位：百万円）



販売先別売上高（国内/海外）

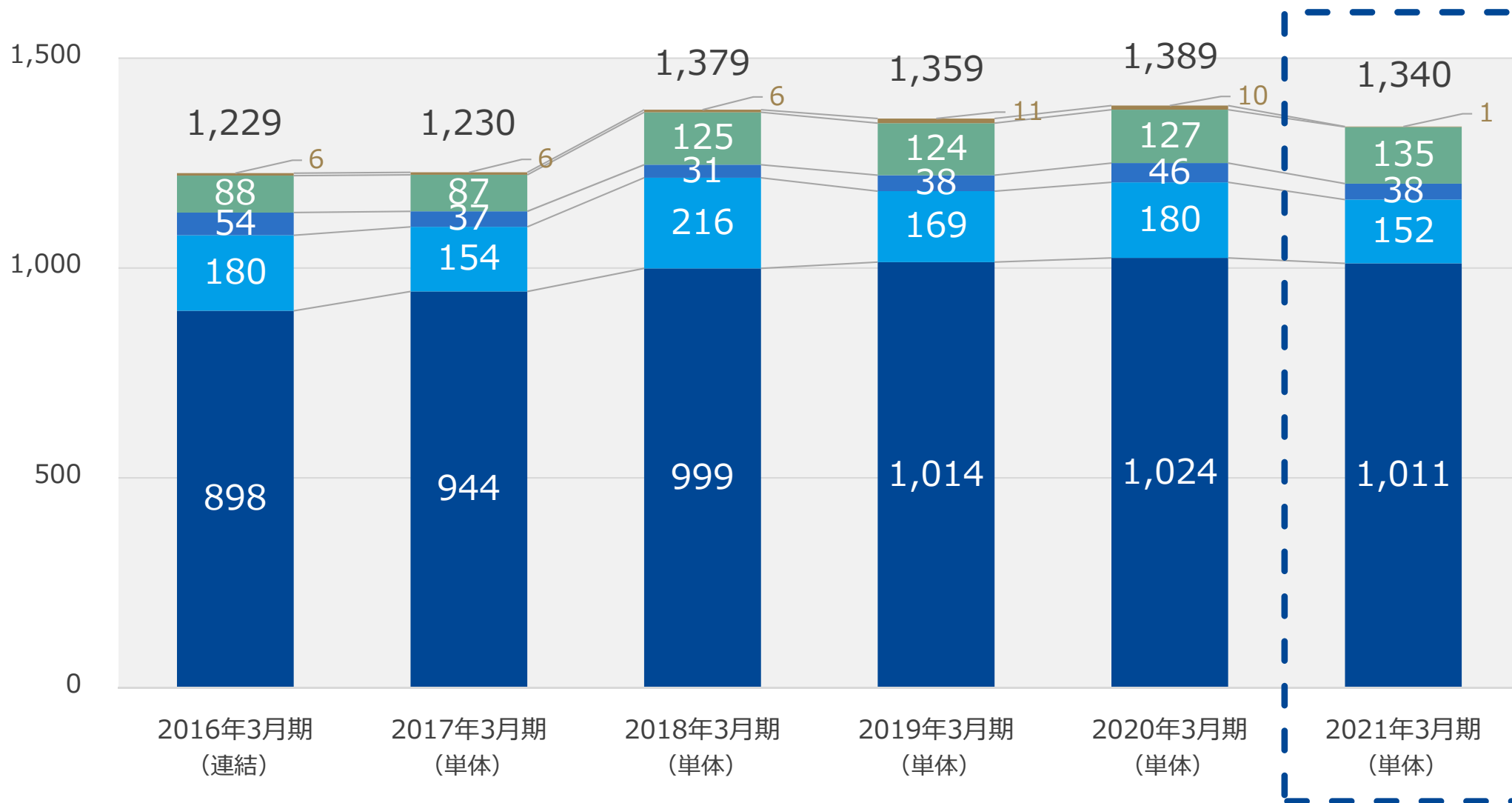
(単位：百万円)



固定費内訳

(単位：百万円)

■ 人件費 ■ その他 ■ 外注費 ■ 建物関係・減価償却費 ■ 販売促進・広告宣伝費



貸借対照表 – 前期末比 –

(単位：百万円)	2020年 3月末	2021年 3月末	差異		2020年 3月末	2021年 3月末	差異
(資産の部)					(負債の部)		
I 流動資産	3,199	3,142	△ 57	I 流動負債	527	418	△ 109
1 現金及び預金	2,720	2,713	△ 6	1 買掛金	40	31	△ 8
2 受取手形	11	1	△ 9	2 未払金	33	42	9
3 電子記録債権	177	172	△ 5	3 未払費用	31	31	0
4 売掛金	210	171	△ 39	4 未払法人税等	34	34	0
5 仕掛品	13	3	△ 9	5 前受金	293	189	△ 104
6 原材料	0	1	0	6 預り金	8	8	0
7 前渡金	42	39	△ 2	7 賞与引当金	85	76	△ 8
8 前払費用	20	20	0	8 その他	-	3	3
9 その他	2	17	14	II 固定負債	6	6	-
				資産除去債務	6	6	-
				負債合計	533	424	△ 109
II 固定資産	197	209	12	(純資産の部)			
1 有形固定資産	41	46	5	I 株主資本	2,862	2,927	64
2 無形固定資産	4	7	3	1 資本金	760	760	0
3 投資その他の資産	151	155	4	2 資本剰余金	891	891	0
(1)投資有価証券	58	79	21	3 利益剰余金	1,240	1,303	63
(2)繰延税金資産	37	33	△ 3	4 自己株式	△ 28	△ 28	△ 0
(3)その他	55	41	△ 13	II 新株予約権	0	0	△ 0
				純資産合計	2,862	2,927	64
資産合計	3,396	3,352	△ 44	負債純資産合計	3,396	3,352	△ 44

キャッシュフロー計算書 – 前年同期比 –

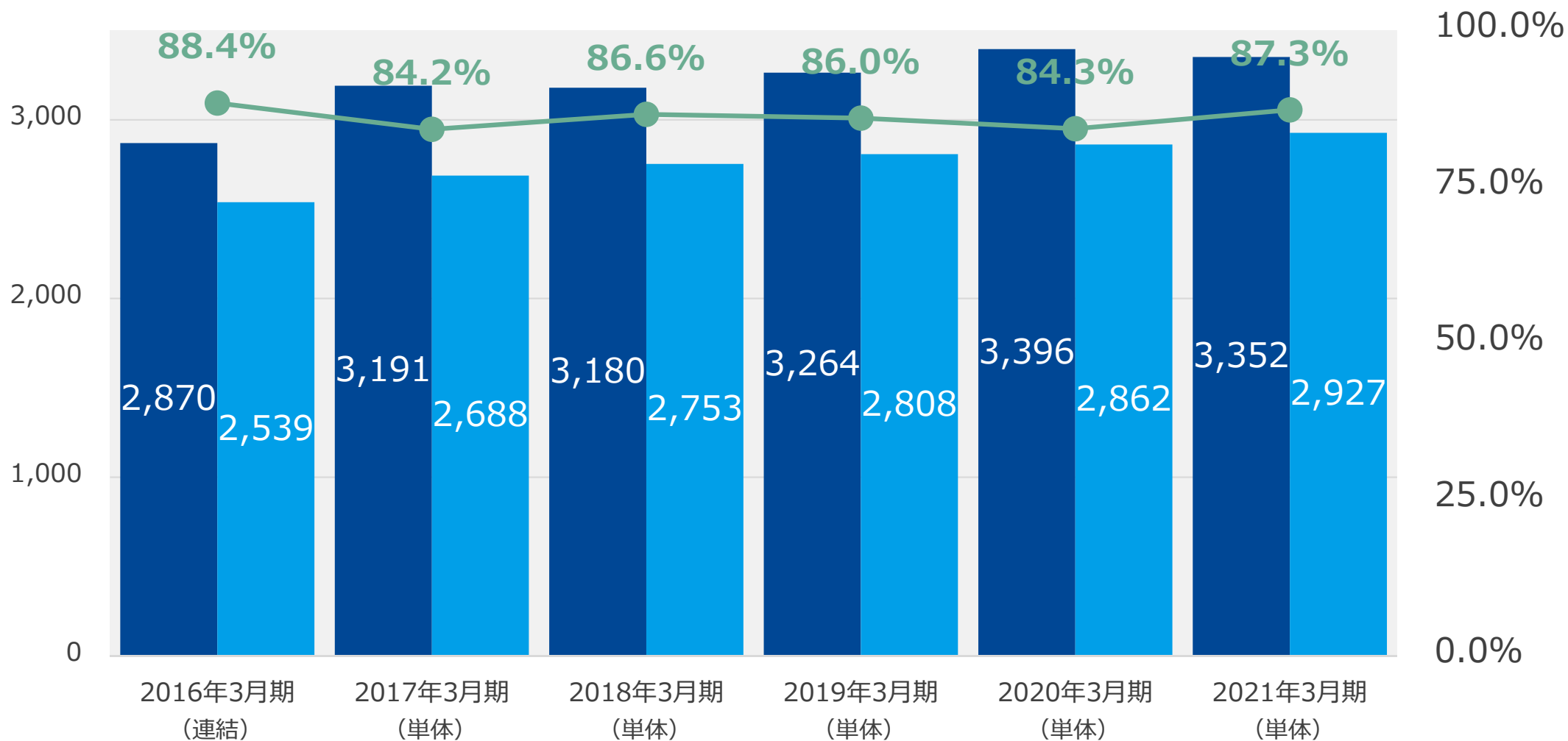
(単位：百万円)

	2019年4月1日 ～ 2020年3月31日	2020年4月1日 ～ 2021年3月31日	差異
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	192	62	△ 129
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 16	△ 33	△ 17
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 38	△ 36	1
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	△ 0	△ 0
V 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	137	△ 7	△ 144
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,656	1,793	137
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,793	1,785	△ 7

総資産・自己資本

(単位：百万円)

■ 総資産 ■ 自己資本 ● 自己資本比率



トピックス

◆ 主力製品の機能拡張を継続

- ◆ 6月 SX-Meister Ver.9.0をリリース
 - ・ 制約検証機能、匠設計環境の拡張
- ◆ 12月 SX-Meister Ver.10.0をリリース
 - ・ 制約検証機能の高速化
 - ・ パワーデバイス解析機能の拡張

◆ 産学連携の促進

- ◆ 「AIを用いたアナログ回路合成研究開発プロジェクト」がJST(文科省)のA-STEP※に採択
- ◆ アナログLSI自動配線の共同研究を開始 (W/東工大)

◆ 各種オンライン販促イベントを実施

※A-STEP : 研究成果最適展開支援プログラム

1. 2021年3月期 決算概要

2. 2022年3月期 計画・業績予想

2022年3月期のポイント

売上高：20億円（対前年比10.2%増）

営業利益：1.5億円（11.8%増）、経常利益：1.7億円（12.8%増）

自社開発製品の研究開発活動を更に加速

ソリューション（デバイス設計受託）売上の拡大／復活

海外市場向け売上の拡大／ステップアップ

2022年3月期業績概要

(単位：百万円)	2021年3月期		2022年3月期		
	実績	売上高比	計画	売上高比	対前期比
売上高	1,815	100.0%	2,000	100.0%	+10.2%
売上総利益	1,136	62.6%	1,148	57.4%	+1.0%
販売費及び 一般管理費	1,002	55.2%	998	49.9%	△0.5%
営業利益	134	7.4%	150	7.5%	+11.8%
経常利益	150	8.3%	170	8.5%	+12.8%
当期純利益	101	5.6%	112	5.6%	+10.6%

◆ 半導体

- ◆ 世界的な「半導体不足」基調により、需要が増大
- ◆ それに伴い、製造設備関係への投資が大幅拡大
- ◆ 設計設備への投資拡大は、今年度から？

◆ FPD等

- ◆ 最終製品の需要増大に伴い、単価が上昇
- ◆ スマートフォン等の「液晶離れ」が顕在化
- ◆ 新技術パネル、異形表示パネルの開発が佳境へ

課題と施策（1）

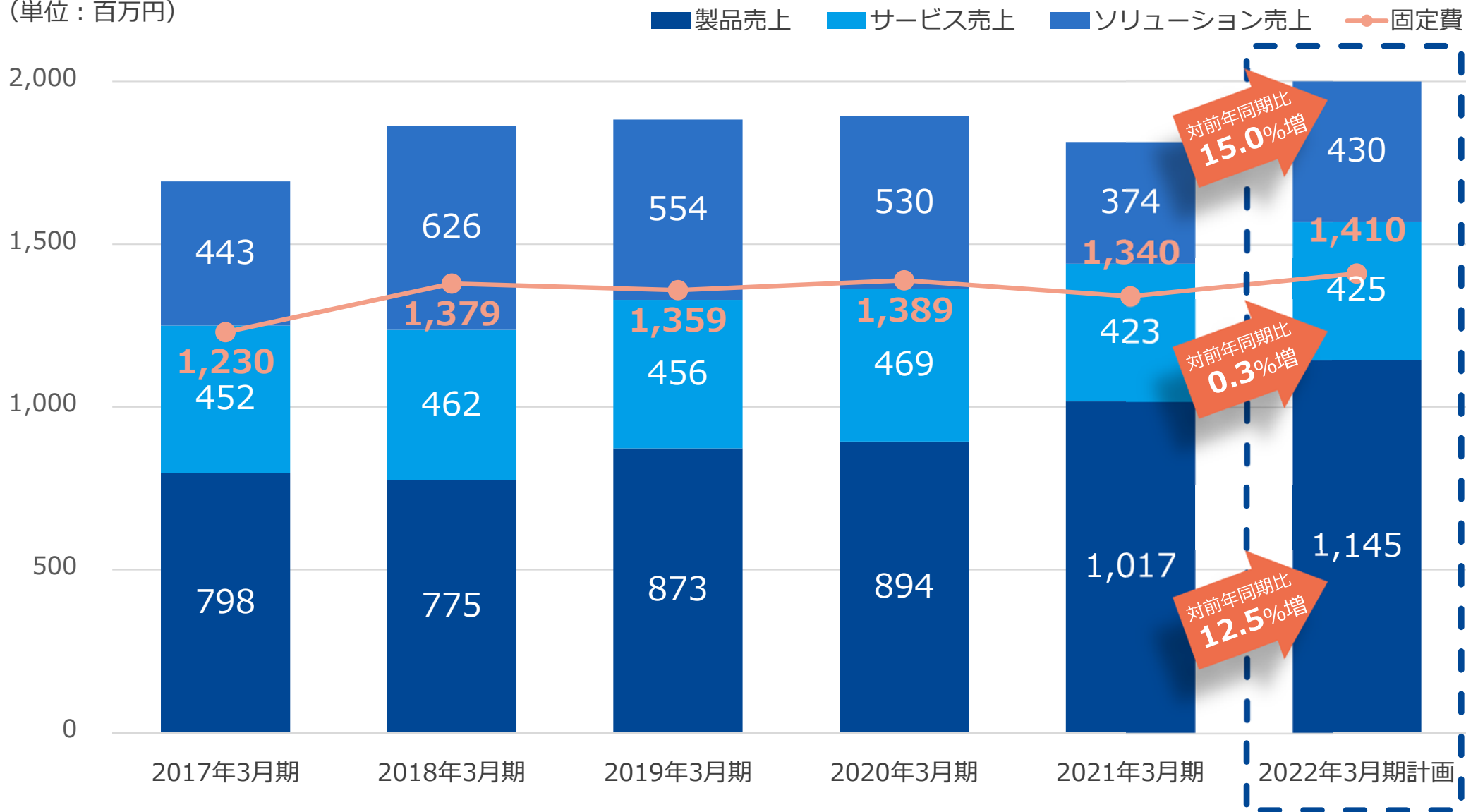
- ◆ 「SX-Meister」の製品力／販売力の増強
 - ◆ 研究開発活動の更なる加速
 - ・ JST/A-STEPからの支援
 - ・ 大学・企業とのオープンイノベーション
 - ◆ 重点テーマの選択と集中
 - ・ AIを用いたアナログ回路設計環境の開発
 - ・ アナログ設計自動化環境(ACC)の開発
 - ・ パワーデバイス等向け機能の更なる拡張
 - ・ 製造機械・素材関連分野への重点的活動
 - ◆ <コロナ時代>に即した販促活動
 - ・ プレスリリース、HPを活用した定期的な情報発信
 - ・ タイムリーなオンライン販促セミナーの開催
 - ・ 強力な代理販売品を絡めた顧客拡張活動

課題と施策（2）

- ◆ ソリューション・ビジネスの売上拡大／復活
 - ◆ デバイス設計受託の売上復活
 - ・ 顧客層の拡大（特に海外等）
 - ・ 設計効率向上への取り組み（EDA開発部隊との連携）
- ◆ 海外市場向け売上の拡大／ステップアップ
 - ◆ 重点国・代理店の見直し
 - ・ 中国、台湾、韓国の代理店等の見直し
 - ◆ 競争力のある重点販売製品にフォーカス
 - ・ 半導体分野：パワーデバイス設計機能
 - ・ FPD分野：異形表示パネル設計機能

売上高・固定費の推移

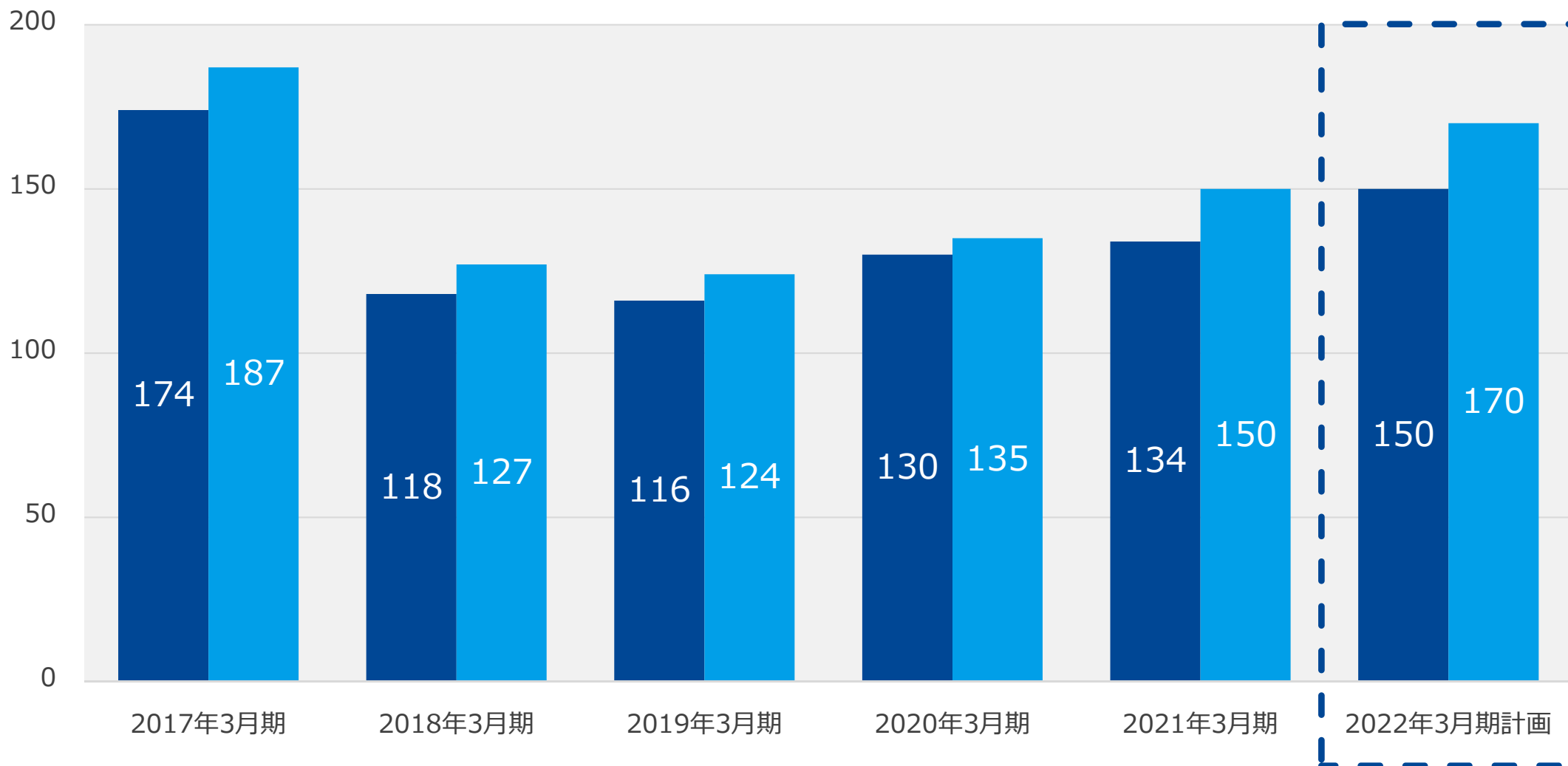
(単位：百万円)



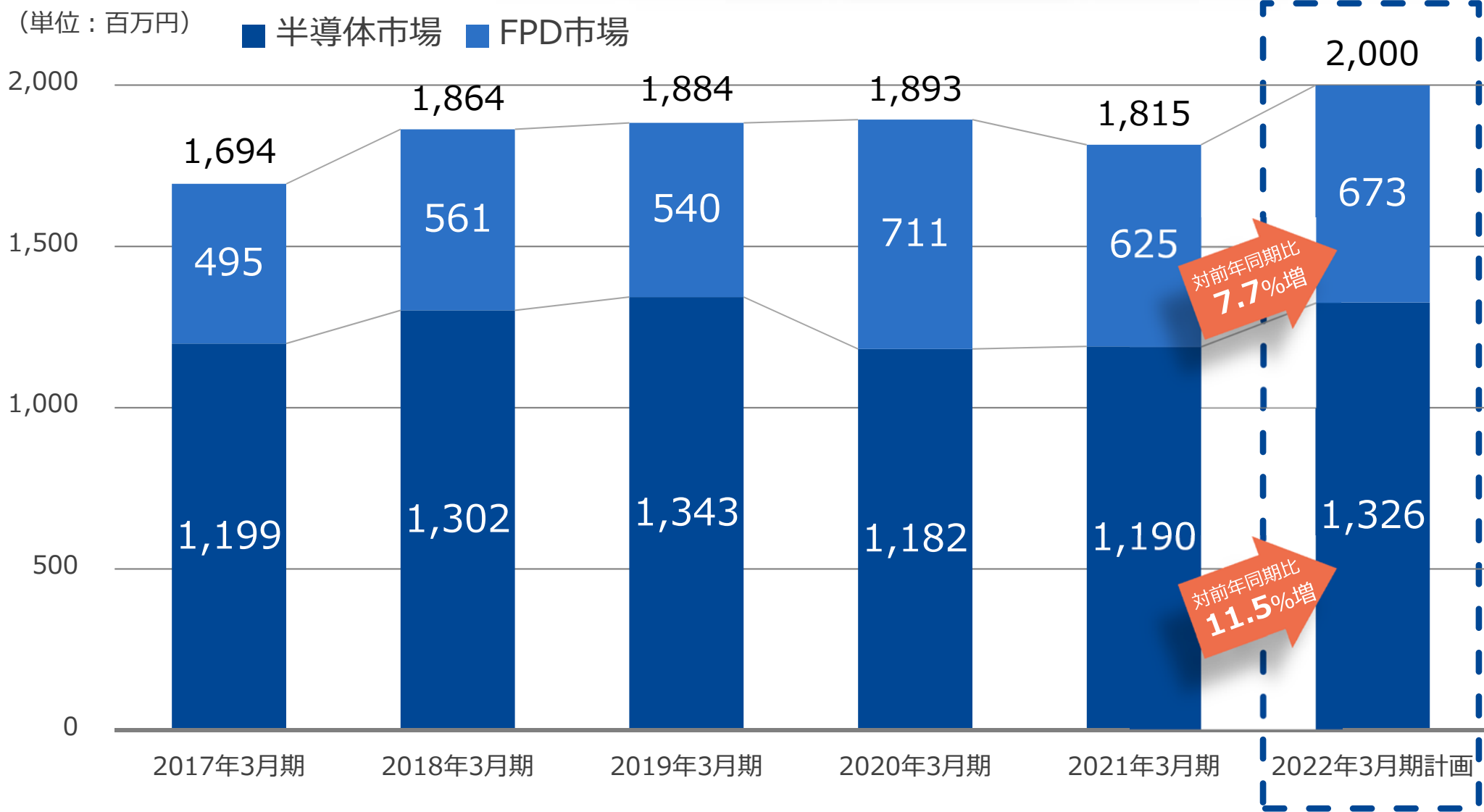
利益の推移

(単位：百万円)

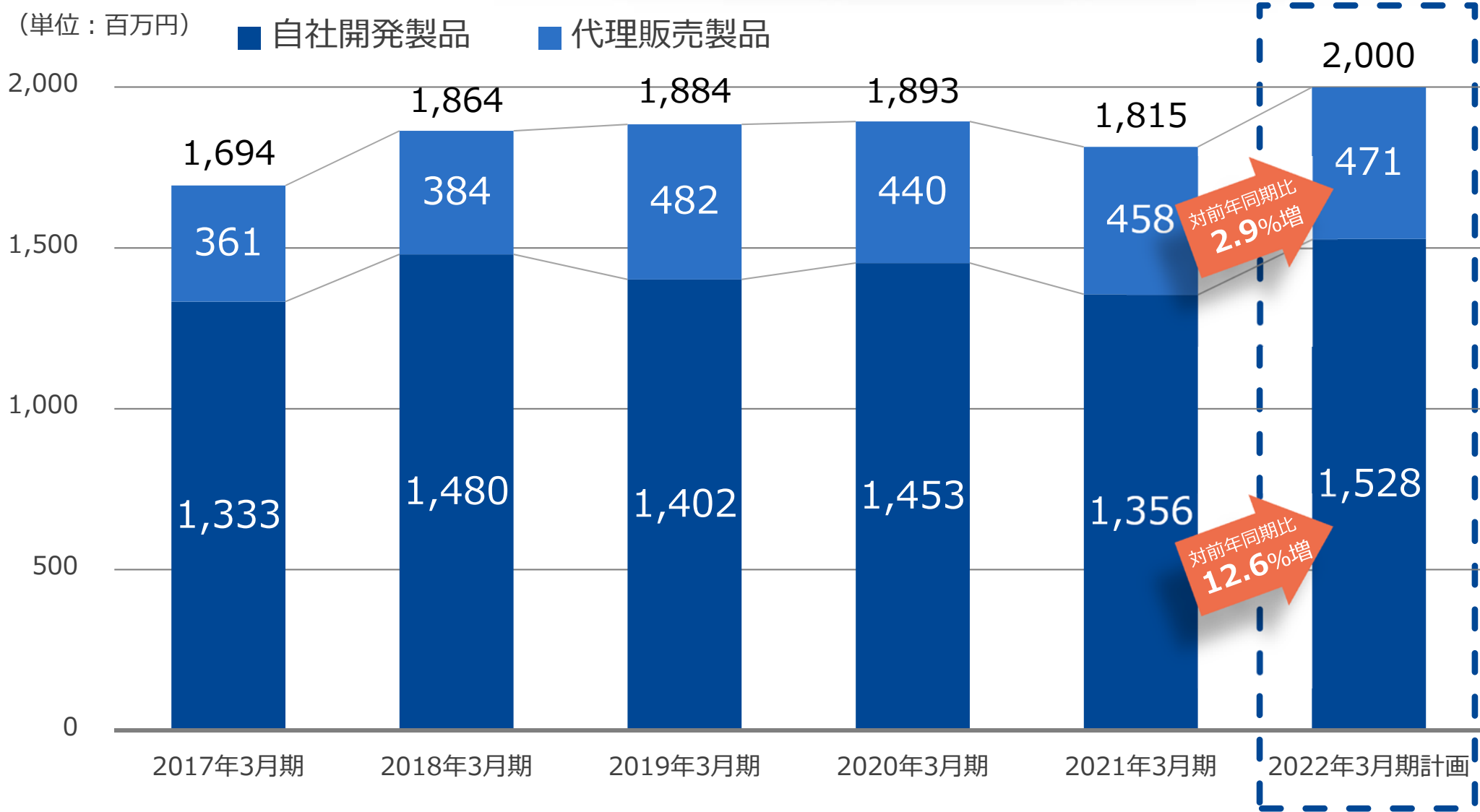
■ 営業利益 ■ 経常利益



市場別売上高（半導体/FPD）



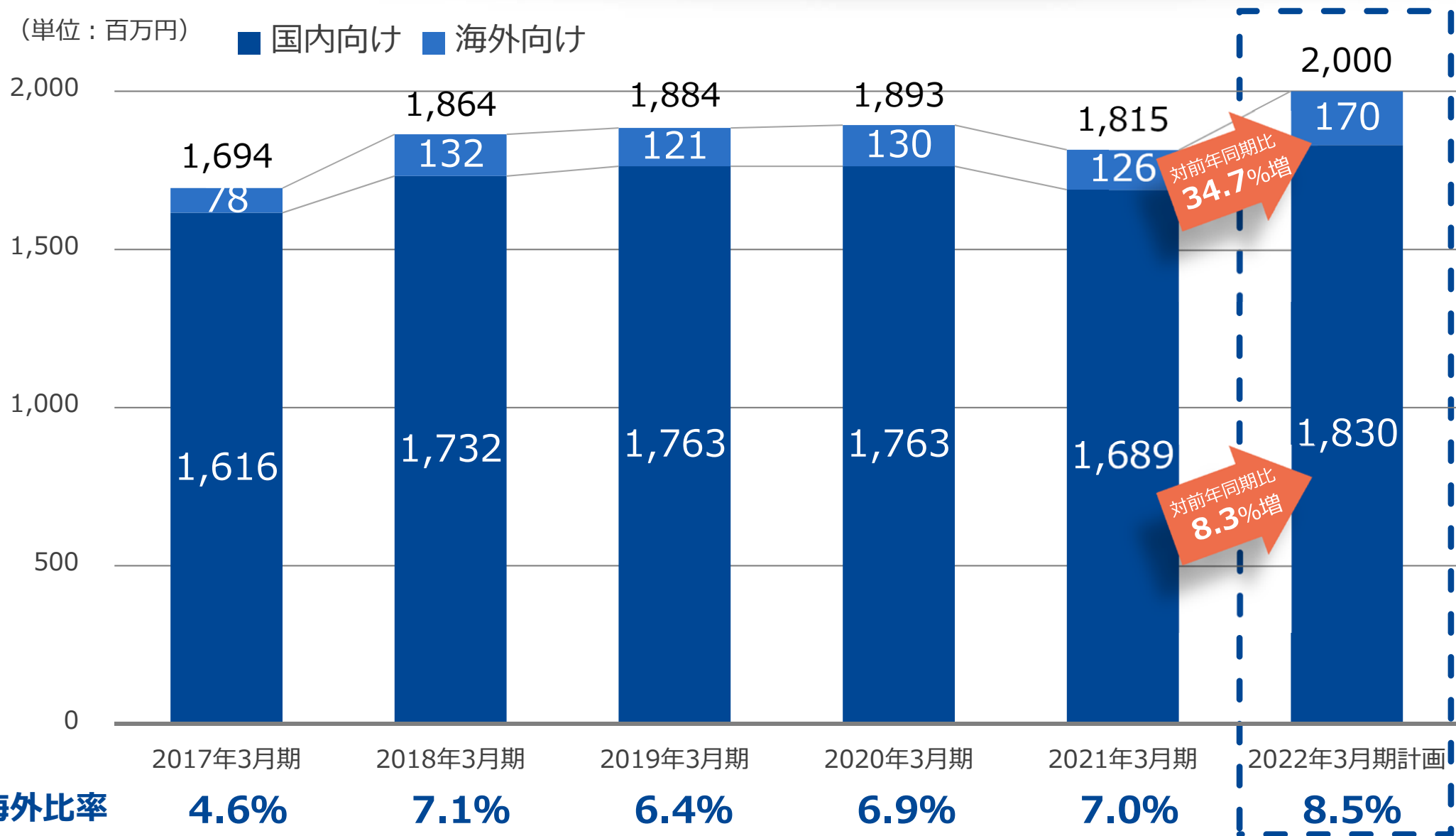
製品区分別売上高（自社開発/代理販売）



販売先別売上高（国内/海外）

(単位：百万円)

■ 国内向け ■ 海外向け



ご清聴ありがとうございました